

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シーマ

コード番号 7638 URL <http://www.cima-ir.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,462	△7.9	△197	—	△238	—	△153	—
26年3月期第2四半期	3,760	△18.2	△435	—	△442	—	△517	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △152百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △520百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△0.77	—
26年3月期第2四半期	△2.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,399	2,987	46.7
26年3月期	6,360	3,150	49.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,987百万円 26年3月期 3,150百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,309	8.0	171	—	157	—	123	—	0.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成26年9月3日付で、ライツ・オファリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)に基づく新株予約権の株主割当(1株につき1個)を実施しました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、新株予約権の行使期間である平成26年10月6日から31日までに増加した発行済株式総数(自己株式を除く)により算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社ニューアート・ラ・パルレ 、 除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	199,715,644 株	26年3月期	199,715,644 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	105,669 株	26年3月期	104,527 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	199,610,650 株	26年3月期2Q	183,662,940 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、四半期決算短信[添付書類]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、全体としては消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動は和らぎつつありますが、個人消費の持ち直しの動きは緩やかで、小売業においても販売品目によってばらつきが見られる状態で推移しており、先行きは楽観できない状況にあります。

このような経済状況のもと、当社および当社の関係会社(以下、当社グループという)は、平成26年7月28日にエステティックサロンを運営する株式会社ニューアート・ラ・パルレの全株式を取得し、新たな事業展開に向けた取り組みを開始いたしました。ブライダル事業が、消費増税の反動減と新規参入による競争の激化により回復が遅れるなか、同社の業績は現時点では比較的順調に推移しており、当第2四半期連結累計期間におきまして、短期間ではありますが、売上および利益の向上に寄与しております。

結果として、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高34億62百万円(前年同四半期比7.9%減)、営業損失1億97百万円(前年同四半期は、営業損失4億35百万円)、経常損失2億38百万円(前年同四半期は、経常損失4億42百万円)、四半期純損失1億53百万円(前年同四半期は、四半期純損失5億17百万円)となりました。

セグメントごとの状況は以下のとおりであります。なお、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分をブライダル事業の単一セグメントから、ブライダル事業とエステ事業に変更しております。

## ①ブライダル事業

ブライダル事業における売上高は30億7百万円、セグメント損失は2億51百万円となりました。

ブライダルジュエリーの売上については、徐々に回復傾向も見えてまいりましたが、市場が縮小していくなかで、安定した利益を出す体制へ立て直すにはもう少し時間を要するものと考えております。

今後は、これまでの営業体制の強化を確実に進め、秋からクリスマス時期の需要期に向けて、新しいデザインを採用した商品の市場投入を進めると同時に、様々なフェア・キャンペーンを実施することで、集客と売上高の回復を図ってまいります。これらの施策を進めることで、下半期につきましては上半期の遅れを挽回することが可能と考えております。また、店舗の移転および統廃合によるコスト削減効果は計画どおりに進んでおり、引き続き売上向上の諸施策とコスト削減を並行させ、業績向上を目指してまいります。

## ②エステ事業

エステ事業における売上高は4億55百万円、セグメント利益は66百万円となりました。株式会社ニューアート・ラ・パルレは平成26年7月28日に当社グループとなり、2ヶ月間の業績となっております。

当社グループとなる以前は、経営基盤が安定しない状況下において採用活動に苦戦を強いられ、サロンの必要人員数の不足などの影響から厳しい運営を余儀なくされておりました。そのため、赤字事業からの撤退、不採算店舗の閉店などを実施することで収益性を向上させ、当社グループとなって以降は、資金面での改善により、美容商品等の仕入れが安定的に行われ、在庫の適正化により売り逃しも無くなり物販売上が増加しました。また、当社のグループに入ったことにより、信用力が強化され、新規の信販会社やクレジットカード会社との契約が進み、新規顧客との契約件数が増加いたしました。また、集客についても数年にかけて実施したWEB広告の成果が現われてきた事と同時に資金力と信用力の強化により他媒体への出稿が可能となり集客の強化が図られたことで売上が増加しました。その結果営業利益がプラスに転じてまいりました。

なお、当社は平成26年8月22日開催の取締役会において、ライツ・オファリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)による資金調達を行うことを決議し、同年10月に総額1,328,118千円の資金を調達しております。これにより同社の新規出店や移転改装を進めていくことで、さらなる集客の増加につなげ、売上および利益の拡大を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11億24百万円減少(前連結会計年度比26.0%減)し、32億円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少9億34百万円、商品及び製品の減少3億56百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ11億63百万円増加(同57.2%増)し、31億99百万円となりました。主な要因としては、有形固定資産の増加1億72百万円、のれんの増加4億18百万円、敷金及び保証金の増加2億52百万円など、株式会社ニューアート・ラ・パルレの連結子会社化によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ0.6%増加し、63億99百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億47百万円増加(前連結会計年度比8.4%増)し、32億15百万円となりました。主な要因としては、前受金の増加3億27百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ45百万円減少(同18.7%減)し、1億97百万円となりました。主な要因としては、社債の減少50百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ6.3%増加し、34億12百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億62百万円減少(前連結会計年度比5.2%減)し、29億87百万円となりました。主な要因としては、会計方針の変更に伴う利益剰余金の減少10百万円、四半期純損失による利益剰余金の減少1億53百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.7%(前連結会計年度末は49.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、ブライダルジュエリーの販売が秋から年末において活発になり、売上向上が見込めることに加え、エステ事業も好調に推移しておりますが、現時点において当社グループ全体としては不確定な要素も多いため、平成26年9月29日に公表いたしました内容についての変更はいたしません。今後、変更の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは平成26年7月28日に、エステティックサロンを運営する株式会社ニューアート・ラ・パルレの全株式を取得し、エステ事業に進出いたしました。これに伴い、当社グループは子会社が1社増加しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率を使用する方法から、単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が10,289千円増加し、利益剰余金が同額減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,216,715	282,099
受取手形及び売掛金	344,006	721,349
商品及び製品	2,263,274	1,906,972
原材料及び貯蔵品	49,375	67,586
前払費用	133,385	133,346
短期貸付金	230,540	460
その他	87,411	88,373
貸倒引当金	△334	△123
流動資産合計	4,324,375	3,200,063
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	216,674	368,242
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	906,340	925,869
建設仮勘定	—	908
有形固定資産合計	1,123,014	1,295,020
無形固定資産		
ソフトウェア	20,210	18,806
電話加入権	4,932	4,932
のれん	—	418,863
その他	—	14,690
無形固定資産合計	25,142	457,294
投資その他の資産		
長期前払費用	10,262	18,167
敷金及び保証金	870,728	1,123,634
その他	20,049	319,033
貸倒引当金	△13,528	△13,525
投資その他の資産合計	887,511	1,447,310
固定資産合計	2,035,668	3,199,625
資産合計	6,360,043	6,399,689

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,315	112,388
短期借入金	1,830,000	1,730,000
1年内償還予定の社債	125,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	51,260	10,960
未払金及び未払費用	384,911	543,495
未払法人税等	42,390	55,742
前受金	230,132	557,789
その他	62,488	104,897
流動負債合計	2,967,498	3,215,272
固定負債		
社債	50,000	—
退職給付に係る負債	189,983	192,219
長期未払金	1,911	4,317
その他	500	500
固定負債合計	242,395	197,036
負債合計	3,209,894	3,412,309
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,953,193	1,953,193
資本剰余金	1,712,094	1,712,094
利益剰余金	△511,512	△675,446
自己株式	△1,943	△1,966
株主資本合計	3,151,830	2,987,873
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,681	△493
その他の包括利益累計額合計	△1,681	△493
純資産合計	3,150,149	2,987,379
負債純資産合計	6,360,043	6,399,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,760,000	3,462,522
売上原価	1,312,225	1,284,841
売上総利益	2,447,774	2,177,680
販売費及び一般管理費	2,883,417	2,375,506
営業損失(△)	△435,643	△197,826
営業外収益		
受取利息	316	4,131
為替差益	4,824	—
未払配当金除斥益	—	2,870
その他	2,939	1,784
営業外収益合計	8,080	8,786
営業外費用		
支払利息	12,918	11,085
社債利息	2,178	1,127
株式交付費	—	34,994
その他	51	2,143
営業外費用合計	15,148	49,351
経常損失(△)	△442,710	△238,390
特別利益		
固定資産売却益	—	426
受取和解金	—	168,555
特別利益合計	—	168,982
特別損失		
減損損失	58,981	42,002
特別損失合計	58,981	42,002
税金等調整前四半期純損失(△)	△501,691	△111,411
法人税、住民税及び事業税	16,212	45,148
法人税等調整額	—	△2,915
法人税等合計	16,212	42,233
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△517,904	△153,644
四半期純損失(△)	△517,904	△153,644

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△517,904	△153,644
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,563	1,187
その他の包括利益合計	△2,563	1,187
四半期包括利益	△520,467	△152,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△520,467	△152,456

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
営業収入	3,993,523	4,082,161
原材料又は商品の仕入れによる支出	△1,058,862	△1,096,064
人件費の支出	△1,001,530	△819,418
その他の営業支出	△1,936,517	△1,860,699
小計	△3,386	305,977
利息及び配当金の受取額	247	4,097
利息の支払額	△14,762	△11,681
和解金の受取額	—	193,800
法人税等の支払額	△32,215	△31,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	△50,117	460,733
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△58,663	△26,275
有形固定資産の売却による収入	1,737	27,258
無形固定資産の取得による支出	△8,411	△3,780
敷金及び保証金の差入による支出	△4,995	△134,893
敷金及び保証金の回収による収入	70,124	89,185
長期貸付金の回収による収入	2,520	2,520
短期貸付けによる支出	—	△686,000
短期貸付金の回収による収入	240	916,155
資産除去債務の履行による支出	△33,227	△18,903
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△1,306,534
その他の収入	500	—
その他の支出	—	△575
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,176	△1,141,843
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△110,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△58,488	△40,300
社債の償還による支出	△85,000	△75,000
自己株式の取得による支出	△23	△27
配当金の支払額	△153	△83
株式交付費の支払額	—	△37,794
その他の収入	5	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,659	△253,201
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,985	△304
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△229,968	△934,616
現金及び現金同等物の期首残高	970,303	1,216,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	740,334	282,099

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)  
 ブライダル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ブライダル事業	エステ事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,007,239	455,282	3,462,522	—	3,462,522
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,007,239	455,282	3,462,522	—	3,462,522
セグメント利益又は損失(△)	△251,738	66,341	△185,396	△12,429	△197,826

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額12,429千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは第1四半期連結会計期間まで「ブライダル事業」のみの単一セグメントでありましたが、当第2四半期連結会計期間に株式会社ニューアート・ラ・パルレを連結子会社化したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より「エステ事業」を新たに報告セグメントといたしました。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブライダル事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、42,002千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「エステ事業」セグメントにおいて、平成26年7月28日付で株式会社ニューアート・ラ・パルレの全株式を取得し、連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において422,383千円であります。